助成金｜寄附講座研究助成

公益財団法人牧誠財団

最大6,000万円 | 締切：10月31日 | 申請難易度：★★★★★ | 全国

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/8/4作成】

制度の概要

日本企業で実践されている**優れた管理会計実務**の定式化・理論化を目指す研究に対する助成制度です。企業経営人材として**CFO（最高財務責任者）**の育成に取り組む既存の寄附講座を対象とし、わが国の学術及び文化の向上発展に寄与することを目的としています。

本助成制度は、理論と実践の架け橋となる研究を重視し、実際の企業現場で活用されている管理会計手法の学術的体系化を通じて、次世代の経営人材育成に貢献する取組を支援します。

支援内容

☐ 寄附講座研究助成

- ☐ 既存寄附講座の管理会計実務研究支援
- ☐ CFO育成プログラム開発支援
- ☐ 企業との産学連携研究推進

最大2,000万円/年 | 期間：最長3年

対象となる取組

- ☐ **管理会計実務**の定式化・理論化研究
- ☐ 企業経営や組織運営に関する実証研究
- ☐ **CFO育成**プログラムの開発・実施
- ☐ 財務戦略と市場対話に関する研究
- ☐ 産学連携による実践的研究活動

対象者

- ☐ **大学またはそれに準ずる機関**の既存寄附講座管理部局
- ☐ 2026年4月1日までに設置されている既存寄附講座
- ☐ 講座名に当財団名を明示すること
- ☐ 運営責任者は応募部局の常勤教員であること

※推薦者による推薦が必要です。

重要な要件

- ☐ 成果公表時に当財団助成を受けた旨を明示
- ☐ 助成金管理及び終了後報告が確実に可能であること
- ☐ 毎年度末に中間報告書、講座終了後に最終報告書提出

戦略的分析

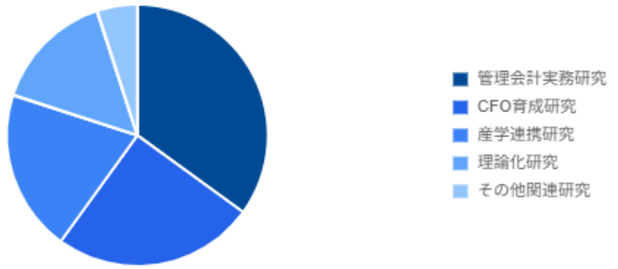
【採択のポイント】

- ☐ **実践的研究価値**：企業現場で活用可能な成果創出
- ☐ **CFO育成効果**：次世代経営人材の養成への貢献
- ☐ **産学連携実績**：企業との協働による研究深化
- ☐ 理論と実務の架け橋となる独創性の高い研究

【戦略的活用法】

- ☐ **段階的研究計画**：3年間の体系的研究設計
- ☐ **企業連携強化**：実務界との密接な協力関係構築
- ☐ 国際的研究ネットワークの活用と発信力強化
- ☐ 若手研究者育成による持続的発展の確保

研究分野別配分傾向



管理会計実務研究：企業の財務戦略と経営管理の統合分析
CFO育成研究：次世代経営人材の能力開発体系

研究テーマ例

研究分野	具体的テーマ例
管理会計実務	企業価値創造のための管理会計システム
CFO機能強化	財務戦略と市場対話の統合モデル
産学連携研究	実践的経営管理手法の理論化
人材育成	次世代CFO育成プログラム開発

採択率向上のポイント

- ☐ **実務価値の明確化**：企業での実装可能性を具体的に提示
- ☐ **連携企業の確保**：**協力企業**との研究体制構築
- ☐ **成果発信計画**：学術界・実務界への普及戦略
- ☐ **継続性の担保**：助成終了後の研究継続体制

必要書類とチェックポイント

提出書類	チェックポイント
研究助成申請書	☐ **研究目的**の明確性と独創性 ☐ 3年間の**具体的計画**策定 ☐ 予算配分の妥当性
助成候補推薦書	☐ 推薦者の適格性確認 ☐ 推薦理由の説得力
講座概要資料	☐ 既存講座の実績と特色 ☐ 研究体制と設備

申請スケジュール

事前準備期間
書類準備に3〜4ヶ月程度。企業との連携調整が重要。
推薦者との事前調整も必須。

公募期間
2025年8月1日（木）〜10月31日（木）
メール・郵送による提出。
※必着となりますので余裕をもって提出。

選考期間
11月〜12月（予定）
選考委員会による厳正な審査

決定通知
2025年12月頃
すべての申請者に対して通知

助成開始
2026年4月〜講座開始
助成金振込は2026年3月末までに実施

問い合わせ

制度詳細　https://melco-foundation.jp/apply/research/6822/

お問い合わせ　公益財団法人 牧誠財団
寄附講座研究助成受付窓口
〒468-0056 愛知県名古屋市天白区島田四丁目1701番の2
TEL：052-249-8421

Memo